

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人
田原市社会福祉協議会

目 次 (決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額 (単位:円)		比較増減
		平成30年度	平成29年度	
◎法人運営				
1 法人運営事業	1	66,013,007	128,321,256	△62,308,249
2 結婚相談事業	5	7,375,850	6,719,190	656,660
3 共同募金事業	6	3,071,902	3,255,545	△183,643
◎地域福祉活動				
4 ボランティアセンター事業	8	5,937,251	7,208,312	△1,271,061
5 生活ささえあいネット事業	11	8,993,100	9,479,228	△486,128
6 地域福祉ネットワーク事業	14	8,911,000	10,732,072	△1,821,072
7 生活支援体制整備事業	18	4,248,904	—	4,248,904
◎福祉サービス利用支援				
8 成年後見センター事業	20	15,993,000	20,491,000	△4,498,000
9 日常生活自立支援事業	21	613,943	406,065	207,878
10 資金貸付事業	22	348,500	343,000	5,500
11 心配ごと相談事業	23	1,989,370	1,944,940	44,430
12 障害児相談支援事業	24	290,072	757,731	△467,659
13 一般相談支援事業	24	0	0	0
14 特定相談支援事業	25	17,691,517	18,836,928	△1,145,411
15 高齢者支援 (地域包括支援)センター事業	27	35,907,413	37,418,012	△1,510,599
16 生活困窮者自立相談支援事業	30	9,821,840	9,730,000	91,840
17 生活困窮者就労準備支援事業	31	3,400,832	3,270,282	130,550
18 障害福祉サービス事業	31	10,887,783	11,091,367	△203,584
19 就労移行支援事業	32	22,487,721	23,631,755	△1,144,034
20 移動支援事業	33	7,138,000	6,831,690	306,310
21 生活介護事業	33	26,705,794	—	26,705,794
22 日中一時支援事業	34	5,322,649	24,630,580	△19,307,931
◎在宅福祉サービス (介護保険事業等)				
23 居宅介護支援事業	34	72,041,358	74,089,104	△2,047,746
24 訪問介護事業	35	41,471,562	40,838,484	633,078
25 福祉車両運行サービス事業	36	2,414,632	2,114,083	300,549
26 配食サービス事業	37	8,163,540	7,296,487	867,053
27 高齢者介護予防事業	37	8,673,834	11,144,252	△2,470,418
◎施設・指定管理				
28 田原福祉センター管理運営事業	39	44,027,917	42,140,128	1,887,789
赤羽根福祉センター管理運営事業	39	14,269,347	14,855,567	△586,220
事業報告の附属明細書について	41			
合 計		454,211,638	517,577,058	△63,365,420

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

◎法人運営

1 法人運営事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
66,013,007円	128,321,256円	△62,308,249円

[目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

[主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員33人、嘱託職員11人、臨時職員55人の計101人（平成31年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報誌は奇数月発行（年6回）
- 職員研修の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

決算額の比較増減については、前年度に有価証券の預金への積み立て直しと退職金積立金を法人運営事業へ一括計上する経理処理を行った影響（計61,327千円）が主な減額理由であり、事業実績に大きな変動はありません。

(1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

ア 理事会

(ア) 第1回理事会 平成30年6月11日 於田原福祉センター
議事

- 第1号議案 評議員候補者の選出について
- 第2号議案 理事候補者の選出について
- 第3号議案 田原市社協就労定着支援事業所運営規程の制定について
- 第4号議案 平成30年度補正予算（第1号）について
- 第5号議案 平成29年度事業報告について
- 第6号議案 平成29年度決算について
- 第7号議案 平成30年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について

(イ) 第2回理事会 平成30年12月18日 於田原福祉センター
議事

- 第8号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第9号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
- 第10号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
- 第11号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第12号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第13号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
- 第14号議案 多機能型事業所田原市社協運営規程の制定について
- 第15号議案 第2回評議員会の招集について

(ウ) 第3回理事会 平成31年3月15日 於田原福祉センター
議事

- 第16号議案 事務局規程の一部改正について
- 第17号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について
- 第18号議案 平成30年度補正予算（第2号）について
- 第19号議案 平成31年度事業計画について
- 第20号議案 平成31年度予算について
- 第21号議案 平成30年度第3回評議員会の招集について

イ 評議員会

(ア) 平成30年度定時評議員会（第1回評議員会）

平成30年6月27日 於田原福祉センター
議事

- 第1～2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 田原市社協就労定着支援事業所運営規程の制定について
- 第4号議案 平成30年度補正予算（第1号）について
- 第5号議案 平成29年度事業報告について
- 第6号議案 平成29年度決算について

(イ) 第2回評議員会 平成30年12月26日 於田原福祉センター
議事

- 第7号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第8号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
- 第9号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
- 第10号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第11号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第12号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
- 第13号議案 多機能型事業所田原市社協運営規程の制定について

(ウ) 第3回評議員会 平成31年3月27日 於田原福祉センター
議事

- 第14号議案 事務局規程の一部改正について
- 第15号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について
- 第16号議案 平成30年度補正予算(第2号)について
- 第17号議案 平成31年度事業計画について
- 第18号議案 平成31年度予算について

ウ 監査会

第1回監査会 平成30年5月25日 於田原福祉センター
監査事項

- a 平成29年度事業報告について
- b 平成29年度決算について

(2) 啓発及び広報活動

機関誌「社協だより」の発行(年6回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

(3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	平成30年度	平成29年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	838件 (995,440円)	866件 (987,860円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	229件 (2,224,761円)	240件 (2,238,732円)
合計	1,067件 (3,220,201円)	1,106件 (3,226,592円)

イ 会費使途

予算区分	内容	金額(円)	割合(%)
法人運営事業	社協だより(年6回発行)発行費	946,617	29.4
	福祉バス(29人乗、1台)運行費	1,580,078	49.1
	福祉のつどい開催経費の一部	228,506	7.1
地域福祉ネットワーク事業	シルバーサロン(13グループ)助成	465,000	14.4
合計		3,220,201	100

(4) 福祉のつどい等福祉啓発事業

平成30年11月11日に田原市総合体育館及び田原文化会館において、社会福祉活動の輪を広げるため「第32回福祉のつどい」を開催しました。

多年にわたり社会福祉の増進に寄与した功績顕著な方々に表彰状及び感謝状を贈呈する表彰式を行うとともに、ボランティア団体（野田ささえあいクラブ）や社会福祉協力校（赤羽根中学校）の活動発表・講演会（ジェフ・バーグランド氏）・各種展示・バザー・体験教室・模擬店を実施し、市民の社会福祉意識の高揚と啓発に努めました。（来場者 約2,000人）

(5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料等の作成及び市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会（※）

※母子寡婦福祉会への助成は、3共同募金事業(2)ボランティア団体等支援助成（P8）参照

イ 事業費支援

次の社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	平成30年度	平成29年度
田原市仏教会 （花まつり、慰霊祭等）	719,130	719,130
六連神社奉賛会（慰霊祭）	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

(6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発に努めるとともに、積極的に外部の生きがいづくり活動の場へ参加を促すことに努めました。

	平成30年度	平成29年度
年間訪問件数	84件	67件
相談室延利用人数	919人	961人

(7) 福祉バス

地域の独り暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、『福祉バス』として高齢者サロン・障害当事者・コミュニティ関係者等が、社会参加や視察研修等、多様なニーズに活用できるように利用幅を広げています。また、多くの団体が社協特別会員として、社協活動への理解と協力を示していただくきっかけとなっています。

利用目的		平成30年度		平成29年度	
		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	12	224	12	222
	野田	9	161	10	171
	高松	4	83	6	86
	伊良湖	3	65	4	59
	亀山	1	11	—	—
サロン活動		28	461	27	411
閉じこもり予防		7	139	6	108
視察研修		21	373	19	375
行事・大会・イベント他		17	339	25	465
合計		102	1,856	109	1,897

2 結婚相談事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
7,375,850円	6,719,190円	656,660円

[目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

[主な事業内容・実績]

<p>結婚を希望する方の相談対応やお見合い、イベント実施により出会いの場を提供しました。</p> <p>【職員体制】 相談員2名</p> <p>【開館時間】 祝日、12月29日～翌年1月3日を除くすべての日 午前9時から午後5時まで</p> <p>○結婚等に関する相談対応</p> <p>○婚活イベント及び婚活セミナーの開催</p> <p>○お見合いのコーディネート及び立会い</p> <p>○自主グループ企画支援</p> <p>○地域住民サポーターとの情報交換を目的とした茶話会の実施</p>

(1) 登録者数等の実績

区分		平成30年度	平成29年度
ふれあいカード登録者数(人)※		134	173
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	356	359
	電話	374	317
	メール等	229	188
	計	959	864
ふれあいイベント延参加者数 (開催回数)		130 (5回)	166 (7回)
婚活セミナー延参加者数		29	25
婚活セミナー開催回数		1	1
お見合い件数		11	11
成婚組数		6	6

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベントの開催

結婚を望んでいる独身者のために、男女の出会いの場として「婚活イベント」を実施しました。

近隣への日帰りバスツアーやお寺での「寺コン」、クリスマスパーティー、体験型イベントなどを実施し、男女の円滑な交流を図り交際へと繋がるための機会を提供しました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によりお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧の後お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合に、お見合いの機会を提供しました。イベントへの参加が苦手な方にとってはお見合いの方が成婚に至る可能性が高くなっています。

本年度は、11組のお見合いを実施し、3組の方が現在交際中です。

(4) 婚活セミナーの開催

結婚への意識を高めるためにコミュニケーション能力を向上させるセミナーを継続的に開催するなどの支援を実施しました。

3 共同募金配分金事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
3,071,902円	3,255,545円	△183,643円

[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 敬老訪問事業
- ボランティア団体の活動支援
- 社会福祉活動協力校への活動助成
- おもちゃ図書館の活動支援
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 福祉のつどい開催

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。(募金実施期間10月1日～12月31日)

平成30年度の取り組みとして、昨年度に引き続き、バルーンアート・着ぐるみ・レクリエーショングッズを活用した街頭募金活動を各校区市民館まつりで実施しました。

区分	募金額(円)	
	平成30年度	平成29年度
街頭募金	138,814	52,004
イベント募金	237,384	200,827
学校募金	496,028	555,197
職域・戸別募金	1,200,463	1,272,576
法人募金	1,981,892	2,088,676
個人募金	331,224	237,642
その他	56,578	63,980
合計	4,442,383	4,470,902

愛知県共同募金会からの一般募金配分金と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

(1) 敬老訪問

田原市と共催で、満88歳・100歳以上の高齢者にお祝い品を贈呈しました。平成30年度は、台風接近により高齢者宅訪問は中止となりました。

区分	平成30年度	平成29年度	記念品
満88歳の方	344人	381人	体温計
満100歳以上の方	56人	46人	パッドシート
合計	400人	427人	

(2) ボランティア団体等支援助成

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	平成30年度	平成29年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
各ボランティア団体（2団体） 田原市食生活改善健康づくり会、女性会議ウィットWIT	60,000	0
母子寡婦福祉会	270,000	300,000
社会福祉協力校※ 小学校17校、中学校6校、高等学校3校	1,300,000	1,350,000
合計	1,852,000	1,872,000

※社会福祉協力校には、1校最大で5万円を助成しています。事業内容は、6地域福祉ネットワーク事業（6）社会福祉協力校事業（P18）を参照

◎地域福祉活動

4 ボランティアセンター運営事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
5,937,251円	7,208,312円	△1,271,061円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- ファミリー・サポート・センターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成支援

決算額の比較増減については、防災ボランティアコーディネーター養成事業（市受託事業）の受託内容変更に伴い、受託料が減額となったためです。

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機づけや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。

ア ボランティア講座

内容	平成30年度		平成29年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
要約筆記入門講座	3	2	3	5
手話入門講座	8	17	8	19

点字講座	2	9	2	5
傾聴ボランティア講座	2	32	2	27
レクリエーション講座	4	42	4	41
ちょボラ講座	イの「ボランティア紹介セミナー」内で実施		イの「ボランティア紹介セミナー」内で実施	
合計	19	102	19	97

イ ボランティア紹介セミナー

田原市ボランティア連絡協議会主催、田原市社会福祉協議会共催で「きっと見つかる！あなたに合ったボランティア紹介セミナー」を田原福祉センターにて9月・2月の2回開催しました。

ボランティアに興味がある方が対象で、ボランティアを始めるきっかけづくりを目的に、「ボランティアってなに？」をテーマに『ちょボラ講座（ちょっとしたボランティア講座）』を行った後、セミナー参加団体による『活動紹介』を行いました。その後の『相談タイム』では、参加者が積極的にボランティア団体のブースを回り、普段の活動の様子を聞き、自分に合ったボランティア探しを行いました。

【第1回】

- 開催日時：平成30年9月29日（土）
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所：田原福祉センター 大会議室・会議室
- 参加者：一般参加者8人
ボランティア団体参加10団体（31人）

【第2回】

- 開催日時：平成31年2月23日（土）
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所：田原福祉センター 大会議室・会議室
- 参加者：一般参加者7人
ボランティア団体参加14団体（37人）

(2) 広域的ボランティア事業

『笑顔でつながろうボランティア～仲間に会いにいこう！やるきスイッチON～』をテーマに田原文化会館にて開催しました。午前は、講師に中川洋子氏を招いて「自分を元気に まわりを元気に」と題した講演会が行われ、午後は、交流体験ブース、活動発表ブース、物づくりブース、展示ブース等に分かれて各々の活動をアピールしながら、東三河5市2町1村のボランティアと交流を図りました。

- 開催日時：平成31年2月3日（日）午前10時～午後3時30分
- 開催場所：田原文化会館
- 参加者：約500人（内田原市約170人）

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア活動を行う団体、個人の活動を支援しました。

ア ボランティア登録状況 平成31年3月31日現在

		平成30年度	平成29年度
個人(人)※		136	109
団体	団体数	78	82
	人数	3,133	3,455

※個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含みます。

イ ボランティア活動に関する相談受付(件数)

	平成30年度	平成29年度
依頼	19	15
紹介	16	8
連絡・調整	16	4
合計	51	27

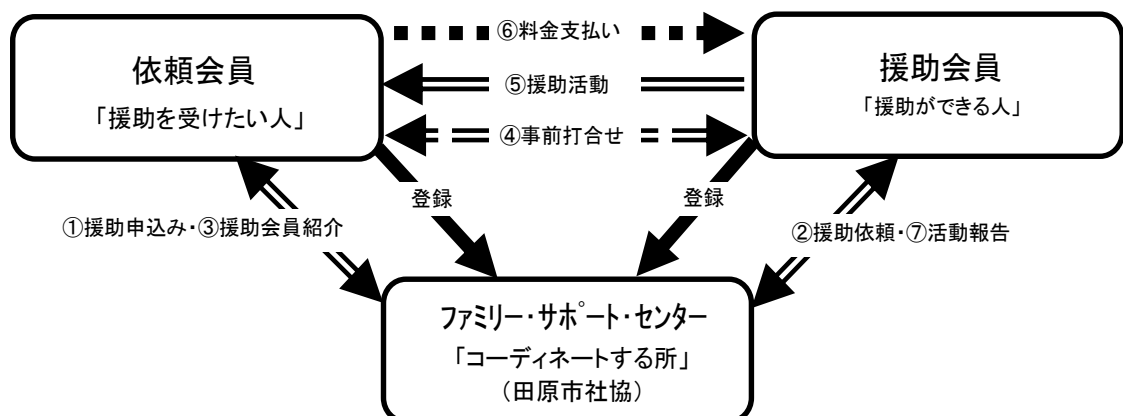
ウ ボランティア活動保険への加入状況

	平成30年度	平成29年度
団体	46団体、1,022人	41団体、972人
個人	74人	56人

(4) ファミリー・サポート・センターの運営(市受託事業)

平成27年4月から社協総務課に事務局を設置し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助ができる人(援助会員)の会員登録と、依頼会員に対する援助会員の紹介を行いました。

ファミリー・サポート・センター制度概要図



※援助活動料金

- ・月～金曜日（平日）午前7時～午後7時
1時間500円(上記時間外600円)
- ・土日・祝日（休日）午前7時～午後7時
1時間600円(上記時間外700円)

年末・年始は休日料金となります。

複数の子どもを預ける場合、2人目からは半額となります。

ただし、援助会員1人に対し3人までです。

ア 登録状況

	依頼会員		援助会員		両方会員	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
年度末登録	59人	81人	12人	16人	11人	12人

イ 活動実績

活動内容	30年度	29年度
送迎	8件	3件
預かり	15件	25件
送迎・預かり	30件	99件
合計	53件	127件

(5) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を養成することを目的に、養成事業の支援をしました。

開催月	内容	参加人数
7月	防災ボランティアコーディネーター養成講座 (2日間)	16人
1月	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	11人

※田原市総合防災訓練（センター立上げ訓練）は台風の影響により中止

5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
8,993,100円	9,479,228円	△486,128円

[目的]

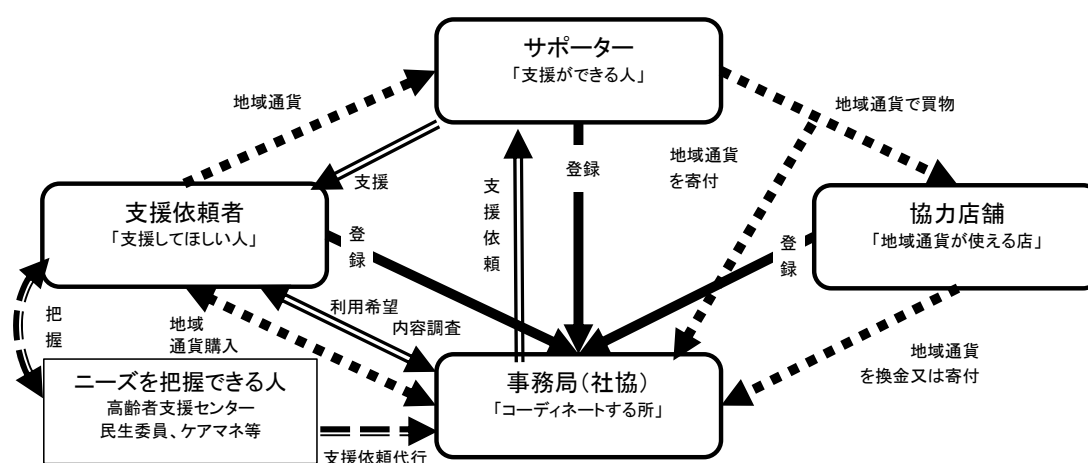
日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いと地元商店との連携を図ります。

[主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活でのちょっとした困りごとを、地域住民の「おたがいさま」の気持ちで支え合い、助け合う活動を組織化しました。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- サポーターを対象とした研修の実施及び保険加入手続き
- 地域通貨の発行、換金及び管理

生活ささえあいネット制度概要図



※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・100菜で30分相当の支援利用

(1) 登録状況

	支援依頼者		サポーター		協力店舗	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
年度末登録	173人	152人	156人	146人	38事業所 44店舗	33事業所 39店舗

(2) 支援実績等

	初回コーディネート		地域通貨販売	
	30年度	29年度	30年度	29年度
年度実績	23件	33件	121冊	150冊
累計	138件	115件	508冊	387冊

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数

(3) 啓発活動等

ア 説明会

開催月	対象者	会場	参加人数
5月	野田いきいきサロン(自主サロン)参加者	安楽寺	14名
	神戸シルバーサロン参加者	神戸市民館	12名
	神戸はつらつシニア体操教室参加者	神戸市民館	8名
	若戸シルバーサロン参加者	若戸市民館	11名
	赤西シルバーサロン参加者	赤西公民館	12名
	まちなかサロン(自主サロン)参加者	中部市民館	7名
	神戸老人会総会参加者	神戸市民館	130名
6月	童浦シルバーサロン参加者	童浦市民館	4名
	ふれあいお楽しみ会(自主サロン)参加者	やぐま台公民館	9名
	田原南部校区コミュニティ	富田組	2名
7月	シルバーサロン藤尾会(自主サロン)参加者	南部市民館	15名
9月	一色「爺ちゃん婆ちゃん喫茶」サロン(自主サロン)参加者	高松一色集会場	25名
10月	田原中部シルバーサロン参加者	中部市民館	8名
11月	介護職員初任者研修修了者	田原福祉専門学校	11名
	新井「爺ちゃん婆ちゃん喫茶」サロン(自主サロン)参加者	新井集会所	14名
	西神戸老人クラブ物故者供養会参加者	赤松公民館	45名
12月	泉校区民生委員	泉市民館	9名
	若戸老人クラブ健康講座参加者	若戸市民館	40名
	市町村社協介護サービス事業経営・運営セミナー	愛知県社会福祉会館	30名
1月	老人クラブ連合会代表者会参加者	田原福祉センター	22名
	シルバーサロン124(自主サロン)参加者	池の原会館	11名
2月	童浦シルバーサロン参加者	童浦市民館	3名
	田原市地域包括ケアを考える講演会参加者	田原文化会館	180名
	清田シルバーサロン参加者	清田市民館	5名
	ボランティア紹介セミナー参加者	田原福祉センター	7名
	娯楽会(シルバーサロン)参加者	小中山総合会館	11名
	田原市地域包括ケア生活支援部会参加者	赤羽根福祉センター	8名
3月	赤羽根東シルバーサロン参加者	J A生活会館	8名
	介護職員初任者研修フォローアップ研修参加者	田原福祉センター	12名
	野田レディース総会参加者	野田市民館	32名
	田原南部校区協議体参加者	田原南部市民館	8名

	生活ささえあいネットサポーター説明会参加者	田原福祉センター	22名
	あかね会(自主サロン)参加者	童浦市民館	13名
	生活ささえあいネットサポーター(野田校区)説明会参加者	野田市民館	15名
合計			763名

イ 広報

- ・社協広報紙「社協だより」掲載
第89号(7月15日発行)
第91号(11月15日発行)※パンフレット挟み込み
市民館まつりにてパンフレット配布

6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
8,911,000円	10,732,072円	△1,821,072円

[目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 地域福祉活動の推進
- 小地域活動を支援するための講座、映画会
- シルバーサロン・ふれあいサロンの運営
- 学校と地域のつながりづくりの支援
- 福祉実践教室開催時における講師の派遣調整
- 小・中・高等学校における福祉教育啓発活動

決算額の比較増減については、新規事業(生活支援体制整備事業)開始に伴い、職員配置を変更したことにより人件費が減額となったためです。

(1) 地域福祉活動の推進

市民館まつり等応援

市民館まつり等校区コミュニティが開催する行事に出向き、ボランティア活動や共同募金等、社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行うとともに、地域住民と交流を図りました。

開催日	行事名	対応状況
5月27日	童浦市民館まつり	職員4名
6月17日	清田市民館まつり	職員4名
8月11日	野田夏まつり	職員4名
8月12日	亀山市民館まつり	職員4名

8月19日	伊良湖市民館まつり	職員4名
10月20日	田原南部市民館まつり	ボラ1名・職員3名
10月21日	田原中部市民館まつり	ボラ2名・職員3名
10月21日	堀切市民館まつり	ボラ1名・職員2名
10月21日	大草市民館まつり	職員3名
10月27日	田原東部市民館まつり	ボラ3名・職員2名
10月27日	赤羽根市民館まつり	職員4名
10月27日	中山市民館まつり	職員5名
10月27日	福江市民館まつり	ボラ2名・職員3名
10月27日	野田市民館まつり	ボラ3名・職員2名
10月27日	若戸市民館まつり	ボラ2名・職員2名
10月27日	泉市民館まつり	ボラ2名・職員2名
10月28日	神戸市民館まつり	ボラ3名・職員2名
11月4日	衣笠市民館まつり	ボラ2名・職員2名
11月4日	和地市民館まつり	職員4名

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

各地区で行うシルバーサロンや老人クラブなどに出向き、福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンの希望に応じて映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。平成30年度は開催希望サロンが少なかったため、3月実施の自主サロン代表者説明会にて、代表者へ映画会の開催を提案しました。

	平成30年度	平成29年度
開催回数	14回	20回
延参加者数	194人	561人

(3) 小地域での交流の場としてシルバーサロン等を開設・運営

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に「ふれあいシルバーサロン」を設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の事務手続きに係る負担の軽減と活動内容の提案を目的として、自主サロン代表者説明会を開催しました。

また、地域住民がリーダーとなって新たな居場所づくりに取り組む「コミュニティサロン」の活動支援を行いました。

ア 開催実績

		平成30年度			平成29年度		
		グループ・会場数	延開催回数	延参加人数	グループ・会場数	延開催回数	延参加人数
シルバーサロン	社協主催サロン※	18会場	401回	3,254人	18会場	416回	3,202人
	自主活動グループサロン	27グループ	867回	8,415人	22グループ	616回	6,277人
コミュニティサロン		6グループ	236回	3,750人	5グループ	211回	3,499人
合計		51	1,504回	15,419人	45	1,243回	12,978人

※社協主催サロンには、指導員（臨時職員）を派遣しています。

イ 助成制度

	開催回数	人数	助成金額	備考
シルバーサロン (自主活動グループサロン)	月1回以上	5人以上10人未満	20,000円	3年超は2/3助成※
		10人以上	30,000円	
コミュニティサロン	月2回以上	10人未満	54,000円	
		10人以上20人未満	72,000円	
		20人以上	96,000円	

※シルバーサロン（自主活動グループサロン）の助成金は、立ち上げ後3年間は社協会費を財源とした社協の単独助成です。3年超のシルバーサロン（平成26年度助成開始）とコミュニティサロン（平成27年度助成開始）の助成金は、田原市の間接助成として田原市から社協への委託料に含まれています。

(4) 発達障害者等の障害者支援関係者ネットワークの形成

発達障害研究の第一人者であり、アメリカでコミュニケーション・セラピストとして活躍する、カニングハム久子先生を講師に迎え「発達障害の早期発見の理解と対応」をテーマに、発達障害の早期介入方法や関わり方、適正なサービスへのつなぎ方など他機関との連携の大切さを学ぶ講演会を開催しました。

開催日	場 所	参加人数
10月23日	田原福祉専門学校	156

(5) 地域における世代間交流

市内の保育園、小学校等と地域の高齢者が世代を超えて交流できる機会を支援しました。コミュニティサロン参加者が保育園等に出向いて、園児に向けて折り紙紙芝居の披露と、折り紙作りを行いました。また、シルバーサロンと学童の交流会に職員が出向いてバルーンアート教室を開き、小学生と高齢者が協力してバルーンアートを制作しました。加えて、保育園から季節ごとの行事への招待を頂いた校区については、参加者の送迎支援を行いました。

開催日	行事名	対応状況
5月11日	法光院花祭り（折り紙紙芝居交流会）	職員1名
6月27日	赤羽根小学校・赤羽根サロン交流会	職員2名
7月3日	高松サロン・高松保育園交流会	職員2名
8月8日	南部児童クラブ・サロン藤尾会交流会	職員1名
8月22日	稲場保育園 折り紙紙芝居交流会	ボラ8名・職員1名
9月5日	漆田保育園 折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員2名
9月12日	泉サロン・泉保育園交流会	職員2名
10月10日	大草保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ2名・職員1名
10月11日	北部保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
10月15日	清田保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
10月19日	福江保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
11月5日	伊良湖岬保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
11月28日	蔵王こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ7名・職員1名
12月3日	田原赤石こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ7名・職員1名
12月4日	高松サロン・高松保育園交流会	職員2名
12月5日	田原赤石こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
12月10日	中山保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
12月12日	中部保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ4名・職員1名
12月14日	野田保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
12月21日	泉サロン・泉保育園交流会	職員1名
1月8日	神戸保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ4名・職員1名
1月9日	東部保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
1月11日	泉保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6名・職員1名
1月16日	稲場保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5名・職員1名
1月17日	赤羽根保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5名・職員1名
1月24日	小中山保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5名・職員1名
2月14日	よってきん会・衣笠小学校交流会	ボラ6名・職員3名
2月27日	赤羽根サロン・赤羽根地区親子交流会	ボラ3名・職員3名

(6) 社会福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校(小学校18校、中学校6校、高等学校3校)を福祉協力校に委嘱し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室等への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

	平成30年度		平成29年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
車いす	13	490	11	371
手話	13	545	11	419
要約筆記	3	184	1	70
点字	8	297	8	279
盲導犬	2	124	3	97
視覚ガイド	12	484	9	347
知的障害	—	—	—	—
高齢者擬似体験	5	232	3	69
認知症	4	141	6	187
講話	1	220	0	0
合計	61	2,717	52	1,839

社会福祉協力校への助成金は、全額共同募金配分金で賄われています。

7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
4,248,904円	—円	4,248,904円

[目的]

高齢者単身・夫婦のみ世帯等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく地域住民が主体となった生活支援サービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として市内4つの圏域に生活支援コーディネーター(第2層)を配置することにより、地域における高齢者の生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容]

中学校区を基本とした4つの日常生活圏域に生活支援コーディネーターを各々配置し、多様な生活支援(生活ささえあいネット事業の周知、住民

同士の助け合い創出・再構築)が利用できる地域づくり、介護予防意識の向上を目的とした地域住民への働きかけを行いました。

各コミュニティ協議会に置かれた市民館を中心にネットワーク構築を図るとともに、市民館長や主事、高齢者支援センターや民生委員、地域活動の実践者(ボランティア団体、サロン主催者等)等と地域情報の共有や後方支援を行うことで、活動の促進・活性化を図りました。また、地域の情報をまとめたシート(冊子)の新規作成や更新を行うとともに、各圏域1箇所を目標に第2層協議体の設置運営や、それに向けた働きかけを行いました。

- 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- 関係機関とのネットワーク構築
- 生活支援の担い手養成やサービスの開発
- 必要時、個別ケア会議への出席

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

	平成30年度
地域生活のニーズ把握、課題整理	26回
地域資源に関する資料更新、集約活動	170回
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	40回

(2) 関係機関とのネットワークの構築

	平成30年度
関係機関等との連携強化	84回
第二層協議体の設置、機能促進	46回

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

	平成30年度
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進	7回
サロンやボランティア団体等との交流、相互理解促進	18回
つながりづくり、サービス開発の促進	15回

(4) 個別ケア会議への出席

	平成30年度
個別ケア会議への出席	1回

◎福祉サービス利用支援

8 成年後見センター事業（市受託事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
15,993,000円	20,491,000円	△4,498,000円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

[主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見〔身上監護（契約手続等）と財産の管理〕の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 市民後見人等養成の検討

決算額の比較増減については、職員配置変更に伴う人件費の減額と、前年度決算額に車両1台の購入費が含まれていることが主な減額理由です。

(1) 成年後見センター運営委員会（委員10名）

法律、行政、福祉、医療等の専門職を構成員とし、個別ケースの法人後見受任可否の審議等を行いました。

日 時 平成31年3月6日

場 所 田原福祉センター 会議室

議 題 法人後見受任に係る適否に関する審議（2件）

監査報告、平成29年度・平成30年度上期事業実績報告
法人後見受任事案等の報告

(2) 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

ア 田原市成年後見センター講演会の開催

開催日時 平成31年3月4日

内 容 『福祉・医療現場での身元保証人問題』

講 師 熊田均 氏

（弁護士、日弁連合会成年後見利用促進対策PT座長）

参加者数 50名（一般、福祉・医療関係者等）

時 間 午後1時30分～午後3時15分

場 所 田原福祉センター大会議室

イ その他

① 広報及び周知啓発活動

- ・ 田原市障害者自立支援協議会運営会議
平成30年5月8日(火)午前10時 田原福祉センター大会議室
『成年後見制度・日常生活自立支援事業について』
- ・ 田原市障害者自立支援協議会運営会議
平成30年10月9日(火)午前10時 田原福祉センター大会議室
『意思決定支援について』
- ・ 社協広報紙「社協だより」掲載
第89号(7月15日発行)、第92号(1月15日発行)
- ・ 社協ホームページによるPR

② 他機関との連携

- ・ 田原市障害者自立支援協議会
運営会議(全12回/毎月第2火曜日)
権利擁護部会(全3回/8月1日、12月4日、3月5日)
- ・ 東三河5市社協成年後見事業情報交換会(全2回/蒲郡・豊川)

(3) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援(人)

	平成30年度	平成29年度
相談実人数	56	30
内成年後見申立支援	(5)	(3)

(4) 法人後見の受任(人)

	平成30年度	平成29年度
後見	10	7
保佐	4	6
補助	2	2
合計	16	15

9 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
613,943円	406,065円	207,878円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

判断能力の不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等）への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、貴重品の預かり等の支援を行いました。

- | |
|-------------------------------------|
| ○福祉サービスの利用援助（相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理） |
| ○日常的な金銭管理サービス（利用料：1回 1,200円） |
| ○書類等の預かりサービス（利用料：年間 3,000円） |

(1) 利用者内訳（人）

	平成30年度	平成29年度
昨年からの継続利用者数	9	5
新規契約件数	6	5
合計	15	10
終了件数	2	1
年度末時点利用者数	13	9
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	0	2

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	5	3	5	13

10 資金貸付事業(県社協受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
348,500円	343,000円	5,500円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- | |
|------------|
| ○生活福祉資金の貸付 |
| ○くらし資金の貸付 |

(1) 生活福祉資金貸付事業

	平成30年度	平成29年度
相談件数	10	7
貸付件数	0	0

(2) くらし資金貸付事業

	平成30年度	平成29年度
相談件数	1	4
貸付件数	0	0

※相談件数に対して貸付件数が少ないのは、相談をした結果、他の方法で解決し、本申請に至らなかったためです。

1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
1,989,370円	1,944,940円	44,430円

[目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごとの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	奇数月2回（原則第1・第3火曜日） 偶数月1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

(1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
相談件数	139	139	1	2	50	44	190	185

(2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	1	年金	3	職業・雇用	5
借金	4	貸金	5	多重債務	4
消費者被害	1	財産	1	土地・建物	18
借地・借家	8	境界・登記	6	相続	56
成年後見	6	家族・家庭	10	離婚・養育費	27
損害賠償	11	事故	1	DV・虐待	1
人権法律	0	その他	22		

合計	190件
----	------

1 2 障害児相談支援事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
290,072円	757,731円	△467,659円

[目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行いました。

- 田原市社協相談支援事業所
 営業日 月曜日から金曜日まで
 (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助
 - ・モニタリングの実施
 - ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助

利用状況

	平成30年度	平成29年度
利用計画書作成件数	15	42

1 3 一般相談支援事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

- 田原市社協相談支援事業所
 営業日 月曜日から金曜日まで
 (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・地域移行支援 (精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援)
 - ・地域定着支援 (病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援)

利用状況

	平成30年度	平成29年度
利用計画書作成件数	0	0

※他の事業所に専門の相談員（精神保健福祉士）の配置があるため作成依頼なし。

1.4 特定相談支援事業（市受託事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
17,691,517円	18,836,928円	△1,145,411円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行いました。

[主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じる他、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

<p>○田原市社協相談支援事業所</p> <p>営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・社会資源を活用するための支援 ・社会生活力を高めるための支援 ・権利の擁護のために必要な援助 ・専門機関の紹介 ・就労に関する支援 ・生活保護被保護者への就労支援 ・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務 ・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務 ・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

決算額の比較増減については、前年度に退職金積立金を法人運営事業へ一括計上する経理処理を行ったことが主な減額理由です。

(1) 相談実績

相談方法	※月別相談実人数累計（人）		相談延回数（回）	
	30年度	29年度	30年度	29年度
電話相談	87	78	936	747

来所相談	63	57	203	199
訪問・同行	73	92	244	302
その他(連絡調整等)	273	254	2,713	2,576
合計	496	481	4,096	3,824

(2) 支援実績

支援内容	※月別支援実人数累計(人)		支援延回数(回)	
	30年度	29年度	30年度	29年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	197	190	2,562	2,531
障害や症状の理解に関する支援	6	3	16	8
健康・医療に関する支援	12	9	24	39
不安の解消・情緒安定に関する支援	19	19	59	76
保育・教育に関する支援	2	0	3	0
家族関係・人間関係に関する支援	0	1	0	1
家計・経済に関する支援	2	0	3	0
生活技術に関する支援	1	0	8	0
就労に関する支援	67	59	1,401	1,078
社会参加・余暇活動に関する支援	2	0	3	0
権利擁護に関する支援	0	1	0	1
その他情報交換・生活状況確認等	11	16	17	90
合計	319	298	4,096	3,824

※(1)相談実績と(2)支援内容の月別支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。

(3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
30年度	29年度	30年度	29年度
169	158	558	451

(4) 就労支援実績及び支援内容(相談件数は(1)(2)に含む)

ア 支援対象者数(人)

(ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
4	5	21	24	30	24	4	3	59	56

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

(イ) 就労状況別

在職		求職		計	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
33	37	26	19	59	56

イ 就職等の状況（人）

就労支援		定着支援		※定着支援のうち			
				福祉的就労		実習・訓練等	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
26	21	29	30	3	2	5	3

1 5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
35,907,413円	37,418,012円	△1,510,599円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護・保健・医療・福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

○総合相談支援業務
○権利擁護業務
・高齢者虐待の防止等
○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
○介護予防ケアマネジメント業務
○認知症に関する取り組み
・認知症地域支援推進員を中心に認知症高齢者に対する相談、認知症を支援するネットワークづくり、啓発等
○地域ケア会議の推進
○在宅医療・介護連携

決算額の比較増減については、前年度に退職金積立金を法人運営事業へ一括計上する経理処理を行ったことが主な減額理由です。

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を	野田小学校区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		赤羽根中学校区
ブランチ	田原福祉センター		泉中学校区 伊良湖岬中学校区

(窓口機能)		除く)	
--------	--	-----	--

(1) 総合相談支援業務

生活圏域の身近な相談窓口として、高齢者やその家族からの介護や生活等の相談、独居高齢者・高齢者世帯の訪問を行いました。初期相談は介護保険申請に関する内容が最も多くなっています。必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。また、平成28年度に作成した野田地区・堀切地区の「お店・業者一覧」の更新を行いました。高齢者支援センターの周知活動としてリーフレットをお店、寺院等に設置、イベントでの配布を行いました。

ア 主センター・サブセンター対応実績

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田	61	38	22	6	285	206	368	250
赤羽根	116	118	79	48	450	371	645	537
泉	96	72	28	18	311	245	435	335
伊良湖岬	81	81	39	45	275	334	395	460
担当圏域外	14	55	42	92	34	48	90	195
合計	368	364	210	209	1,355	1,204	1,933	1,777

イ ブランチ対応実績

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田	0	0	1	1	0	0	1	1
赤羽根	0	0	0	3	0	0	0	3
泉	0	0	0	0	0	0	0	0
伊良湖岬	0	1	1	1	0	0	1	2
福江	0	0	2	3	0	0	2	3
東部	2	4	6	11	1	0	9	15
田原(童浦小校区除く)	1	5	5	9	0	0	6	14
田原(童浦小校区)	1	0	0	2	0	0	1	2
市外・不明	1	2	3	4	0	0	4	6
合計	5	12	18	34	1	0	24	46

(2) 権利擁護業務

高齢者虐待関連等の相談や報告を受けて事実確認するなど、田原市担当課と連携して、高齢者・養護者の支援等に取り組みました。成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用可能性が高い相談は、成年後見センターと連携を図り支援しました。

援助項目	延件数(件)	
	30年度	29年度
成年後見制度等の利用	5	27
虐待への対応	9(実人数2)	1(実人数1)
消費者被害への対応	0	0
困難事例への対応	2	4
合計	16	32

(3) 介護予防ケアマネジメント業務

通所型介護予防事業は事業の縮小、市役所のチェックリスト配布対象者を少なくしたことに伴い、活動全体が前年度に比べ少なくなりました。介護予防プランの作成件数は年間を通しては増加しましたが、月間での件数は現在の圏域になってから初めて前年度同月を下回ることがありました。

ア 通所型介護予防事業(旧二次予防)

	30年度	29年度
電話(件)	17	22
来所(件)	0	0
訪問(件)	123	300
合計	140	322

イ 介護予防プラン作成業務(要支援の方等)

	30年度	29年度
年度末登録者数(人)	139	149
予防プラン作成件数(件)	1,811(委託件数0件)	1,764(委託件数0件)

ウ 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント相談内訳

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		連絡調整(件)		計(件)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田	99	103	3	4	359	405	130	170	591	682
赤羽根	110	135	14	19	610	649	344	343	1,078	1,146
泉	129	89	3	5	451	423	233	220	816	737
伊良湖岬	137	75	13	20	733	580	265	221	1,148	896
その他	10	0	1	0	17	0	6	0	34	0
合計	485	402	34	48	2,170	2,057	978	954	3,667	3,461

(4) 地域介護予防・普及啓発事業

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一環として認知症サポーター養成講座、認知症対応講座を実施しました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催月	会場	対象者	参加人数
6月	若戸小学校	若戸小学校6年生	12
11月	堀切市民館	野田小学校6年生	26
1月	若戸市民館	若見老人クラブ	42
合計			80

イ 出前講座

開催月	会場	対象者	内容	参加人数
4月	サンパルクたはら	農村生活アドバイザー協会田原支部会員	認知症対応啓発	50
5月	あつみライフランド	田原市民生児童委員協議会高齢者部会	認知症対応啓発	26
9月	高松一色公民館	爺ちゃん婆ちゃん喫茶(自主加)参加者	認知症対応啓発	19
11月	高松新井集会場	爺ちゃん婆ちゃん喫茶(自主加)参加者	認知症対応啓発	16
11月	赤羽根中学校	赤羽根中学校1年生徒	認知症対応啓発	44
合計				155

1.6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
9,821,840円	9,730,000円	91,840円

[目的]

さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へ包括的な相談支援を行うことにより、生活保護に至る前の自立を促します。

[主な事業内容・実績]

田原福祉センター、赤羽根福祉センター及びあつみライフランドに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析（アセスメント）し、食料の支給や就労に関する支援、医療機関へのつながりや他の福祉制度の紹介・利用、必要に応じてその課題を踏まえた個別の「自立支援計画」を作成しました。

○職員体制

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（田原福祉センター）
- (2) 相談支援員 2人
（赤羽根福祉センター、あつみライフランドに各1人）

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れ

ある方

(1) 新規相談実績 (件)

相談経路	平成 30 年度	平成 29 年度
本人 (来所)	10	5
本人 (電話)	4	2
家族・知人 (来所)	1	2
家族・知人 (電話)	1	0
自立相談機関が把握	2	2
関係機関・関係者紹介	14	13
その他	7	4
合計	39	28

(2) 自立支援計画作成実績 (件)

	平成 30 年度	平成 29 年度
計画作成件数(初回プラン)	8	8
計画作成件数(再プラン)	4	3

1 7 生活困窮者就労準備支援事業 (市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
3,400,832円	3,270,282円	130,550円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常・社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活自立、社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制 就労準備支援員 1人 (田原福祉センター)
○利用対象者 就労にむけた準備が整っていない生活困窮者

相談実績 (件)

	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	14	13

1 8 障害福祉サービス事業 (障害者総合支援法に基づく事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
10,887,783円	11,091,367円	△203,584円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者(児)宅、知的障害者(児)宅又は精神障害者(児)宅に在宅生活を援助するため、ホームヘルパーを派遣しました。

○田原市社協ヘルパーステーション

営業日 年中無休(ただし、年末年始利用は要相談)

新用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
28	28	2,790	2,971	2,861	2,929

派遣世帯数については、年度末における数値

1 9 就労移行支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
22,487,721円	23,631,755円	△1,144,034円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

[主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○田原市社協就労移行支援事業所

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

- ・個別支援計画の作成
- ・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- ・生産活動の機会の提供
- ・実習先企業等の紹介
- ・就労への移行に向けた求職等の支援
- ・就労後の職場定着のための支援

決算額の比較増減については、前年度に退職金積立金を法人運営事業へ一括計上する経理処理を行ったことが主な減額理由ですが、報酬単価の減額に伴い、人件費等も若干減額となっています。

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
17	16	2,275	2,418	4	3

利用者数については、年度末における数値

2 0 移動支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
7,138,000円	6,831,690円	306,310円

[目的]

障害者総合支援法における田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(児)の社会参加などの際の外出支援を行いました。田原市在住の他市利用者も昨年に引き続き支援を行いました。また、グループ支援での提供も毎月行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション
営業日 年中無休(ただし、年末年始利用は要相談)
場 所 赤羽根福祉センター内(赤羽根町赤土1番地)

事業実績

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
30	27	3,339	3,079	866	878

2 1 生活介護事業(障害者総合支援法に基づく事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
26,705,794円	－円	26,705,794円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適正なサービスを提供することを目的とします。

[主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切にし、創作的活動、畑の作業、外出等を行い、生きがいや居場所づくりを行います。

○田原市社協生活介護事業所なのはな
営業日 月曜日から金曜日
(12月29日～翌年1月3日を除く)

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度
30	—	2,476	—

2 2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
5,322,649円	24,630,580円	△19,307,931円

[目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

[主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行います。

○田原市社協日中一時支援事業所

営業日 土曜日及び祝日

田原市立学校等管理規則に定められる休業日の期間中は月、火、木、金、土曜日

（12月29日～翌年1月3日を除く）

決算額の比較増減については、生活介護事業開始に伴い、2事業所を統合して事業規模を縮小したことが主な減額理由です。

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度
23	49	903	3,336

※平成29年度の数字は日中一時支援事業所なのはなの数字を含む。

◎在宅福祉サービス

2 3 居宅介護支援事業（介護保険事業）

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
72,041,358円	74,089,104円	△2,047,746円

[目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画（ケアプラン）を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

- 田原市社協あかばねケアプランセンター
- 田原市社協あつみケアプランセンター
- 営業日 月曜日から金曜日まで
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・各種介護相談対応、申請援助
- ・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成
- ・施設入所等の相談対応
- ・入退院時の医療機関との連携
- ・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

決算額の比較増減については、前年度に退職金積立金を法人運営事業へ一括計上する経理処理を行ったことが主な減額理由です。

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	30年度	29年度	30年度	29年度
赤羽根	178	180	1,950	2,059
あつみ	221	198	2,335	2,259
計	399	378	4,285	4,318

2 4 訪問介護事業(介護保険事業及び市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
41,471,562円	40,838,484円	633,078円

[目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

- 田原市社協ヘルパーステーション
- 営業日 年中無休(ただし、年末年始利用は要相談)
- 場 所 赤羽根福祉センター内(赤羽根町赤土1番地)

(1) 訪問介護(要介護1～5)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
24	26	2,552	3,282	3169	3,945

派遣世帯数の減少に伴い、派遣回数及び派遣時間が減少しました。

(2) 介護予防訪問介護（要支援1～2）

利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
21	27	1,581	2,042	1,621	2,105

派遣世帯数の減少に伴い、派遣回数及び派遣時間が減少しました。

(3) ひとり親家庭等日常生活支援事業(市受託事業)

社会的支援が必要なひとり親家庭に、生活援助のためにホームヘルパーを派遣しました。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
1	—	11	—	11	—

(4) 障害児童・生徒学校介助員派遣事業(市受託事業)

身体・精神・知的障害のある児童に学校で介助を行うためホームヘルパーを派遣します。今年度は利用実績がありませんでした。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
0	1	0	439	0	70

2.5 福祉車両運行サービス事業

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
2,414,632円	2,114,083円	300,549円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

- 月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
午前8時30～午後5時15分
- 利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる
- 発着のどちらかが、田原市内であることが条件

利用実績

事業所	年間延利用件数(件)					
	高齢者		障害者		計	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度

田原	937	958	265	289	1,202	1,247
赤羽根	0	7	0	4	0	11
渥美	245	182	91	43	336	225
合計	1,182	1,147	356	336	1,538	1,483

2 6 配食サービス事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
8,163,540円	7,296,487円	867,053円

[目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

- 月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
- 利用者本人の負担は食事代実費（500円又は520円）

決算額の比較増減については、受託金の単価増額に伴い、人件費を増額したことが主な増額理由です。

利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	30年度	29年度	30年度	29年度
田原	40	47	5,466	5,511
赤羽根	6	6	722	735
渥美	37	56	3,846	4,342
合計	83	109	10,034	10,588

2 7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
8,673,834円	11,144,252円	△2,470,418円

[目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施して、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

[主な事業内容・実績]

- 閉じこもり予防教室
- はつらつシニア体操
- 体力向上教室

決算額の比較増減については、受託内容の変更に伴い、事業規模が縮小されたことが主な減額理由です。

(1) 閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。和地市民館は29年11月で参加者が0名になってしまい、新たに参加者を募り、30年3月から新たに開催しています。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田市民館	12	12	14	12	119	111
高松市民館	12	12	14	16	140	132
赤羽根市民館	12	12	9	10	87	99
赤西公民館	12	12	13	13	115	113
若戸市民館	12	12	15	16	116	139
池尻集会場	12	12	9	10	76	98
泉市民館	12	12	6	8	39	54
和地市民館	12	8	12	12	92	24
堀切市民館	12	12	12	16	113	134
福江市民館	12	12	22	25	204	206
あつみライフランド	12	12	6	6	58	56
清田市民館	12	12	7	7	64	56
合計	144	140	139	151	1,223	1,222

(2) はつらつシニア体操

足腰の筋力が低下している高齢者を主な対象者として、筋力を向上させることを目的に「はつらつシニア体操」を田原市内7校区の12会場で開催しました。会場については、利用者が集まりやすいよう地区の市民館等を利用して開催しました。高松市民館は市の直接運営となり廃止となりました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田市民館	24	24	21	18	343	303
高松市民館		24		22		382
高松一色集会場	24	24	12	14	203	229
赤羽根市民館	24	24	11	11	185	203
赤西公民館	24	24	16	17	297	287
若戸市民館	24	24	16	17	249	276
池尻集会場	24	24	10	11	157	191
福江市民館	24	24	34	37	564	563
あつみライフランド	24	24	17	29	219	327

清田市民館	24	24	23	22	423	353
中山市民館	24	24	10	10	157	172
小中山総合会館	24	24	16	20	245	331
合計	264	288	186	228	3,042	3,617

(3) 体力向上教室

介護が必要となるリスクが高い方のうち、筋肉や関節等の機能向上が望ましいと判断された方に対して、「体力向上教室」を田原市内7校区8会場で開催しました。市との調整で開催回数は前年度より減っています。社会福祉協議会以外にあつみの郷、デイサービスやわら、デイサービスぽかぽかで実施されています。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
野田市民館	16	16	13	13	182	174
高松市民館		16		9		127
赤羽根市民館	16	16	9	7	127	107
赤西公民館		16		7		106
若戸市民館		16		3		42
池尻集会場		16		4		59
泉市民館	16	16	5	15	64	191
堀切市民館	16	16	5	4	55	51
伊良湖市民館		16		11		166
福江市民館	16	16	9	8	128	98
あつみライフランド	16	16	9	8	101	93
清田市民館		16		12		167
中山市民館	16	16	7	9	94	127
小中山総合会館		16		10		152
亀山市民館	16		5		64	
合計	128	224	62	120	815	1,660

◎施設・指定管理

2 8 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	30年度支出決算額	29年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	44,027,917円	42,140,128円	1,887,789円
赤羽根福祉センタ	14,269,347円	14,855,567円	△586,220円

一管理運営事業			
---------	--	--	--

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。また、ふれあい・いきいきサロンの定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

田原福祉センター管理運営事業の決算額の比較増減については、空調設備の改修工事を施工したことが主な増額理由です。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

	田原福祉センター		赤羽根福祉センター	
	30年度	29年度	30年度	29年度
一般利用	47,671	50,587	-	-
会議室利用	36,336	32,925	2,863	2,648
健診等	5,538	5,744	0	0
その他※	12,822	10,064	3,379	2,123
合計	102,367	99,320	6,242	4,771

※ 各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

ア 田原福祉センター

- 「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」2,275人
- 「豊川保健所田原保健分室利用者数」4,485人
- 「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」6,062人

イ 赤羽根福祉センター

- 「生活介護事業利用者数」2,476人
- 「日中一時支援事業所利用者数」903人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とするなど市民活動の拠点としても親しまれています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

- (ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5) 各種団体支援助成 参照 }
- (イ) 田原市成年後見センター

- (ウ) ボランティアセンター
- (エ) ふれあい相談センター（結婚相談）
- (オ) 田原市社協就労移行支援事業所
- イ 豊川保健所田原保健分室
- ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター
- エ 田原市障害者総合相談センター
- オ こども発達相談室
- カ 母子寡婦福祉会（喫茶及び売店）
- キ 田原市地域職業相談室（ハローワーク）
- (3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介
 - ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会
 - (ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター
 - (イ) 田原市社協ヘルパーステーション
 - (ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター
 - (エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな
 - (オ) 田原市社協日中一時支援事業所
 - イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

◎事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。